

元気なものづくり産業を応援!

2017年度町田市トライアル発注認定商品が決定

問産業観光課 ☎724・2129

市では、元気なものづくり産業で市内経済の活性化を図るため「町田市トライアル発注認定制度」を制定しています。この制度は、市内事業者が開発する新規性の高い優れた商品の販路拡大を支援するため、一定の基準を満たした商品及び開発事業者を認定するもので2013年度から毎年実施しています。

2017年度は、書類審査及び専門家による意見聴取の結果、5商品(5事業者)を認定しました。今回の認定商品を含めて、これまでに20事業者24商品が認定を受けています。

なお、認定期間中は認定商品カタログの作成や配布、町田市ホームページ

での紹介、各種イベントブースでのPR等を通し販路拡大のための支援を行います。また、「町田市名産品」や「まち☆ベジ」と併せて「まちだイチオシ」商品として、市内外にも広くPRを実施します。

○認定期間 8月1日～2020年3月31日

○認定要件 販売を開始した日から5年以内で次のすべての要件を満たす商品 ①既存商品とは著しく異なり、優れた使用価値を有する②技術の高度化、経営能率の向上、市民生活の利便の増進に寄与する③生産・販売の方法や資金調達の方法などが適切である

認定商品の紹介

LEDオゾン濃度測定装置(有限会社光電鍍工業所)



世界初となる、水銀ランプ式に代わるLED式のオゾン濃度測定装置です。

オゾン濃度の計測(自動車排ガスによるオキシダント測定)、オゾン発生器を使用した水処理等(浄水場、下水処理場、プール、湖、沼)の大気中へ排出される残留オゾン濃度の計測、オゾン発生器を使用した殺菌・脱臭等の大気オゾン濃度計測等、さまざまな用途での使用が可能です。

システムデバッグ支援周辺モデル「SyDAP model」(株式会社インターバディ)



システムデバッグ(*)を支援する仮想検証向けのマイコン周辺モジュールのSystemCモデル群です。実際のハードがない状態で、ソフトウェア検証を可能にする仮想検証は、早期デバッグやハードで行うことが難しい検証を網羅できることから注目を集めています。

電子製品・車載製品の短期で確実な検証が可能となり、安全安心な社会的インフラストラクチャーの構築へとつながります。

*コンピュータプログラムに潜む欠陥を探し取り除くこと。

Wi-Fi 街だ君(株式会社イズミ)



通常時は観光情報を発信し、災害時は防災拠点として、灯り・情報通信手段を確保し、被害状況の発信や避難の誘導に有効活用できる街路灯です。災害時、停電となってもバッテリーによる電源供給で、灯り・情報を確保することができます。

SHIZUKA Stillness Panel(株式会社静岡)



特許技術を活用した複数の素材からなる独自の構造を持ち、音楽スタジオ、ライブハウス、映画館、自宅などの音響空間をつくるのに最適な音響調音パネルです。400Hz以上の音域において約90%以上の一定の吸音率を保ち、厚みを変えることで難しい低音域の吸音も可能となります。

技術の応用で「騒音問題」や音環境改善による「高齢者の心理的ケアや安全な環境づくり」にも活用できます。

透き通る漆シート(株式会社Duco)



塩ビフィルムに漆と箔を塗布して開発したシートで、建築、インテリア、家具、アクセサリなど、さまざまな用途で利用できる商品です。これまでのインテリアシートと比較して、天然漆を手塗りしており、環境に配慮した素材であり、デザイン性・加飾性に優れた独自性がある商品です。

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、日本の伝統工芸を生かした「和」の表現を実現することができます。

千野円句さんが「モスクワ国際バレエコンクール」のジュニア男子ソロ部門で金賞を受賞!

問文化振興課 ☎724・2184

小学1年生から4年生までの約3年半、市立町田第五小学校に通い、その後モスクワ国立アカデミー舞踊学校で学んでいた千野円句さんが、6月にモスクワで開催された、第13回モスクワ国際バレエコンクール・ジュニア男子ソロ部門で金賞を受賞しました。8月8日には、その報告のため祖母の谷口登美子さんとともに市役所を訪れました。



祖母の谷口さん(中央)とともに報告に来られた千野さん(右)

報告では受賞の喜びを語るとともに、今後について「ロシア国立ポリショイ・バレエ団に入団予定です。将来は日本で凱旋公演し、プロのダンサーとして踊る姿を見てもらいたいです」と話されました。

同コンクールはモスクワで4年に1度開催されており、ジュニア部門での日本人の金賞受賞は2001年以来の快挙となります。

町田新産業創造センター入居企業「株式会社Tokyo New Cinema」制作作品

「モスクワ国際映画祭」で受賞!

問町田新産業創造センター ☎850・8525、町田市産業観光課 ☎724・2129

創業支援施設「町田新産業創造センター」に入居する株式会社Tokyo New Cinema(映画企画・制作・配給業)の制作映画「四月の永い夢」が、「第39回モスクワ国際映画祭」で国際映画批評家連盟賞、ロシア映画批評連盟特別表彰の2つの賞を受賞しました。

同映画祭は、カンヌ・ベルリン・ベネチアに並ぶ世界四大映画祭の1つで、今年は6月22日～29日にロシア・モスクワにて開催されました。

8月23日には、代表取締役・木ノ内輝氏(写真中央)、監督・中川龍太郎氏(写真左)、プロデューサー・藤村駿氏(写真右)の3氏が受賞の報告のため市役所を訪れました。中川監督は「いつか町田を舞台にした作品を撮りたいです」と話されました。

市では公開に先立ち、先行試写会を実施します。世界に認められた町田市の起業家発の作品を、ぜひご鑑賞下さい。

なお、日本国内での公開は2018年春を予定しています。

受賞記念先行試写会

当日は、監督・プロデューサー等による舞台挨拶があります。

○日時 9月12日(火)午後7時～9時

○会場 町田市民フォーラム

○定員 150人(申し込み順)

○申し込み 9月10日午後5時までに、町田新産業創造センターホームページで申し込み。



受賞映画「四月の永い夢」(英題:SUMMER BLOOMS)

27歳の元教師の女性が、3年前に亡くなった恋人の書き遺した手紙をきっかけに、自分自身と向き合い始める…。

号の広報紙は、13万8476部作成し、1部あたりの単価は18円となります(職員人件費を含みます。また作成経費に広告収入等の歳入を充当しています)。